

日本鉱物科学会 平成24年度 第2回定例評議員会議事録

日時：平成25年5月22日（木）18：45～20：30

会場：幕張メッセ 国際会議場 102A

出席者

評議員会メンバー

会長：村上 隆，副会長：小山内康人

評議員：赤坂正秀，石渡 明，片山郁夫，木村純一，土山 明，
 坂本尚義，奥山康子，小澤一仁，鍵 裕之，佐藤 努，
 伴 雅雄，平島崇男，宮島 宏，森下知晃，井上 徹，
 黒澤正紀，小暮敏博，高澤栄一，土谷信高，留岡和重，
 永井隆哉，長瀬敏郎，中村美千彦

委任状：榎並正樹，廣井美邦，本間 寿，宮嶋 敏，大藤弘明，
 欠席者：阿部なつ江，

幹事会メンバー

会長：村上 隆

副会長：小山内康人

庶務幹事：永井隆哉

会員幹事：佐藤 努

会計幹事：中村美千彦

行事幹事：黒澤正紀

和文誌編集幹事：赤坂正秀

英文誌編集幹事：平島崇男

渉外幹事：井上 徹

広報幹事：伴 雅雄

Elements幹事：鍵 裕之

特務幹事（会則・内規検討担当）：小暮敏博

特務幹事（会員減少対策担当）：片山郁夫

特務幹事（対外雑誌担当）：大谷栄治

特務幹事（法人化対策担当）：土山 明

会計監査委員：後藤章夫，加々島慎一

三鉱連絡委員：永井隆哉，大和田正明

選挙管理委員会：鈴木庸平，外田智千

地球惑星科学連合2013年度学会選出プログラム委員：

角替敏昭（正）・三宅 亮（副）

地惑連合連絡担当：大谷栄治，石渡 明，黒澤正紀，

橘 省吾（連合登録連絡委員）

各種委員会委員長

行事委員会委員長：黒澤正紀幹事

GKK編集委員会委員長：赤坂正秀幹事

JMPS編集委員会委員長：平島崇男幹事

渉外委員会委員長：井上 徹幹事

広報委員会委員長：伴雅雄幹事

Elements委員会委員長：鍵 裕之幹事

将来企画委員会委員長：小山内副会長

教育普及委員会 委員長：奥山康子

新鉱物・命名・分類委員会委員長：宮脇律郎

博物館委員会委員長：坂野靖行

2013年年会LOC委員長：林謙一郎

各賞選考委員会委員長

日本鉱物科学会賞選考委員会委員長：小暮敏博

渡邊萬次郎賞選考委員会委員長：小澤一仁

日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員長：長瀬敏郎

日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員長：森下知晃

日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員長：宮島 宏

櫻井賞選考委員会委員長：松原 聰

会議に先立ち，会長より書記として加々島慎一会員が指名され，満場一致で承認された。

議題

I. 報告事項

1. 会員報告と入会承認（佐藤会員幹事）

平成24年度第1回評議員会以降の会員動静について報告があった。物故会員2名(名誉会員1名，永年会員1名)，退会者14名(シニア会員2名，一般正会員6名，学生正会員6名)，入会者11名(一般正会員3名，学生正会員8名)，復活会員1名(一般正会員1名)，除名会員1名(一般正会員1名)，不明会員2名(一般正会員2名)である。現時点での会員数は981名となった。賛助会員，講読会員を含む団体登録は174件，総数は1155件である。

2. 広報報告（伴幹事）

広報活動について以下の報告があった。

- 1) 主な役割の分担を行った。橋委員：将来企画委員会との連携，鈴木委員：ホームページ，亀井委員・奥村委員：学会でのプース。
- 2) 会員へのML送信を30回実施した。内容は，学会事務連絡，公募案内，関連学会（含海外の学会）案内など。
- 3) 連合大会の鉱物科学会ブース展示対応を行った。
 1. 学会発行の科学雑誌，年会，表彰，入会案内，2. 学会会員の執筆した書籍の展示・紹介，3. 学会員に配布されているElementsの紹介ポスター，4. 「一家に1枚：鉱物-地球と宇宙の宝物」ポスターの配布。
- 4) 2013年連合大会HPに学会のロゴマークを掲載した。
- 5) 岩鉱31巻5号，6号(1944年)の電子アーカイブからの漏れが判明。JSTでは現在予算がないため，将来予算確保まで学会独自で学会WEBサイトに公開することになった。

3. 渉外報告（井上渉外幹事）

渉外活動について以下の報告があった。

- 1) 2012日本地球惑星科学連合大会（2012JpGU）から始めた鉱物科学会ブースにおける「本学会会員執筆書籍の展示」は，日本鉱物科学会2012年年会，及び今回の2013JpGUへと引き続き行われている。尚，現在までに献本された本は19冊である。
- 2) 講談社から，大学の講義で使える学部生向けの「鉱物科学(仮)」の教科書の出版を検討している。講談社内の方では本企画は承認され，今後，学会の方で編集委員会を立ち上げて検討していく。
4. 和文誌(GKK)編集報告（赤坂GKK編集幹事）
GKKの編集状況について以下の報告があった。

- 1) 岩石鉱物科学41巻5号(9月号)～42巻2号(3月号)計4号が発行され，掲載件数頁数は以下の通り。原著論文1編11p，総説12編151p，資料・解説5編29p，訂正1件1p，新刊紹介5件2.5p，ニュース(他学会案内，教員公募等)2.5p，投稿規定6p，学会記事(評議員会・総会議事録)32p，年会案内9p，総目次2p，広告6件3p，白頁1p，4号合計頁250p，1号平均頁62.5p。印刷状況：42巻3号(5月号)3論文(1編WEB早期公開中，2編準備中)。42巻4号(7月号)3論文(WEB早期公開中)。現在査読中論文：8編(特集号3編含む)受理論文1編(早期公開準備中)
- 2) 特集号「マントル起源物質解説:知りたいこと，読めること，読みたいこと」報告:2012年11月13日のGKK編集委員会にメールで報告し，1号あたり50頁として4号分(41巻5号，6号，42巻2号，3

号)に分けて掲載することとなった。しかし、17編掲載予定で、まだ査読中論文があるため、その5として42巻4号にも掲載予定。発行状況：その1：41巻5号(9月)5編51頁，その2：41巻6号(11月)4編50頁，その3：42巻2号(3月)3編50頁，その4：42巻3号(5月)2編33頁。

3) 昨年より花崗岩関係の特集号の検討があり、2013年5月7日のメール編集委員会で承認された。

特集号タイトル：日本の花崗岩とテクトニクス企画報告
編集委員氏名(所属)：土谷信高(責任者, 岩手大学), 加々島慎一(山形大学), 木村純一(JAMSTEC), 亀井 淳志(島根大学)

4) 総説執筆依頼中

5. 英文誌(JMPS)編集報告(平島JMPS編集幹事)

JMPSの編集状況について以下の報告があった。

平成25年5月22日(水)13:00-14:00にJMPS編集委員会を開催した。

1) JMPSの発行状況：JMPS107巻5号(10月号)~108巻2号(4月号)計4号が発行され、掲載件数頁数は以下の通り。Article 11編135p, Letters10編55p, その他14p, 4号合計総頁204頁, 1号平均頁51p。以降の発行予定:108巻3号(6月号)原著論文4編, Letter5編(一部早期公開中), 108巻4号(8月号)原著論文5編(1編早期公開中, 3編印刷中, 1編準備中)

2) JMPSの編集状況

*2013年5月22日現在: 査読中論文7編, 返却中6編

*2012年9月19日以降2013年5月22日まで投稿状況(昨年比較): 総投稿数31編(年会Letter 12編, 通常原稿19編: うち海外投稿数9編), 昨年度 37編(年会Letter15編, 通常原稿22編: うち海外投稿数15編]

3) 2013連合大会講演を対象にLetterを募集中

4) 審議事項

- 1) JMPS現行ページチャージの見直し(英文)について
- 2) JMPS査読システム(Editorial Manager) 改善要望
- 3) 編集体制について
- 4) 投稿数アップ対策(過去の掲載総頁比較 105巻362頁, 106巻348頁, 107巻270頁)。
- 5) 第1回JpGUジャーナル委員会報告
- 6) 現印刷会社契約満了による印刷会社の変更については, 9月の会議での審議事項

6. 庶務報告(永井庶務幹事)

1) 評議員会関連

- 2012年 9月26日メール JAMS各賞委員会委員選挙投票依頼
- 2012年 9月28日メール 大学評価・学位授与機構から機関別認証評価委員会専門委員候補者推薦依頼
- 2012年10月09日メール 20120624 Elements Executive Committee 会議の報告
- 2012年10月17日メール JAMS評議員会審議=平成24年度各賞選考委員投票結果について
- 2012年10月20日メール 平成23年度第3回評議員会議事録(案)確認依頼
- 2012年10月20日メール 平成24年度第1回評議員会議事録(案)確認依頼

2013年 1月16日メール JAMS評議員会審議=高温高压中性子回折実験用ビームライン共用化へのサポート

2013年 3月21日メール 日本学術振興会育志賞受賞候補者推薦依頼

2013年 3月25日メール 日本鉱物科学会第1回幹事会第2回評議員会開催日時お知らせ

2013年 4月18日メール 学術会議事務局より(新公益法人法対応などの学術団体調査結果)

2) 連合への対応

2012年 9月26日 JpGUジャーナルに関係した編集委員, 編集運営委員会委員推薦氏名報告

2012年 9月27日 会長交代による団体会員情報更新

2012年 9月27日 日本鉱物科学会推薦JpGU教育問題検討委員会の新委員報告

2012年10月02日 日本地球惑星科学連合第7回学協会長会議 開催出席(村上会長)

2012年10月02日 日本地球惑星科学連合2013年大会学会エリア出展申込み

2012年10月12日 「科研費成果公開促進費」提出予定の学会間での打ち合わせ欠席

2012年10月12日 第4回科研費成果公開促進費対応臨時委員会出席(村上会長)

2012年10月18日 第3回科学技術系専門職の男女共同参画実態調査へのご協力のお祝い回答

2012年10月26日 日本地球惑星科学連合はAGU Fall Meetingにブース出展へのJMPS送付承諾

2013年 4月02日 2013年連合大会への展示学会紹介メールニュース掲載, 大会トップページロゴ掲載

2013年 5月22日 日本地球惑星科学連合 第8回学協会長会議開催出席(村上会長)

2013年 5月22日 第2回定時社員総会(入船徹男代理出席)

3) 後援(2件), 共催(5件), 協賛(10件) 報告

4) 会員への連絡

2012年10月24日メール 日本学術会議東日本大震災に係る学術調査検討委員会東日本大震災にかかわる団体の活動の調査依頼

2012年11月01日メール 男女共同参画学協会連絡会・第3回大規模アンケート依頼

2012年11月09日メール 第2回モンゴル資源地質学会・日本鉱物科学会交流行事報告

イタリア 2009年ラクイラ地震に関する裁判の実刑判決に対する日本地質学会声明

2013年01月21日メール 世界結晶年(IYCr2014)への協力について

2013年02月04日メール 「一家に1枚—鉱物:地球と宇宙の宝物」ポスター配布案内

2013年02月08日メール 日本鉱物科学会平成25年度評議員候補者の推薦についてお知らせ

2013年04月02日メール JpGU学会ブースでの会員執筆書籍展示ご提供のお願い

2013年04月24日メール 2013連合大会学協会エリア個別デスクにてJAMS学会アクティビティを紹介

5) その他

(1) 高温高压中性子回折実験用ビームライン共用化へのサポート要望書提出

- (2) 事務局パソコン故障のため2012年11月16日新規購入
- (3) 事務補佐員2013年1月22日付退職の報告

7. 行事・年会報告 (黒澤行事幹事, 林謙一郎LOC委員長代理:
黒澤行事幹事)

- 1) 日本地球惑星科学連合2013年大会を以下の通り実施中である。
日程: 2013年5月19日(日)~24日(金)
会場: 幕張メッセ国際会議場
- 2) 日本鉱物科学会2013年年会・総会は以下の通り開催予定である。
日程: 2013年9月11日(水) ~13日(金)
会場: 筑波大学 第一エリア 1B棟, 1C棟 (予定)
内容: 日本地球化学会と同日合同開催
「共通セッション」4種, 「スペシャルセッション」2種,
「レギュラーセッション」8種
講演申込み期間: 6月7日(金)9時~6月23日(日)17時
(WEBサイト利用)
- 3) 共催報告: 日本地質学会第120年学術大会レギュラーセッション「岩石・鉱物・鉱床学一般」と「変成岩とテクトニクス」,
国際シンポジウム「環太平洋オフィオライト: 沈み込み, 付加作用, マントル・プロセス

8. Elements報告 (鍵Elements幹事, 村上会長)
Elementsの編集体制及び原稿について以下の報告があった。

- 1) 原稿報告
2012年
No.6 研究奨励賞、応用鉱物科学会賞、論文賞の紹介記事。
J-PARC PLANETビームライン完成の紹介。JMPS Vol 107(5) October, 2012の目次
2013年
No.1 村上会長の挨拶。JpGUの案内。JMPS Vol 107(6) December, 2012の目次
No.2 WPI 地球生命研究所の紹介。Hayabusa-2の紹介。JMPS Vol 108(1) February, 2013の目次
No.3 お休み
No.4 6月上旬原稿締切予定。記事内容は未定。
- 2) その他
Elements' Executive Committee conference call (11 April 2013, 1300 GMT / UTC) 報告

9. 会計報告 (中村会計幹事)
日本鉱物科学会平成24年度一般会計中間報告として以下の2点が行われた。

- 1) 平成24年度一般会計中間報告
(平成24年9月1日~平成25年5月15日)
未納が多く(冊子希望9名, 電子希望76名), 督促のための郵送代がかさんでしまう問題がある。未納者リストを評議員会で提示し, 評議員から未納者に納入を促すこととした。
- 2) 2012年年会計決算報告
10. 会計監査報告 (加々島会計監査委員)
2012年年会会計決算監査報告の内部監査報告が示され, 適切に処理されている旨報告があった。
11. 将来企画委員会報告 (小山内委員長)

5月22日(水) 13:00-14:00に将来企画委員会開催し以下の案件を議論した。

- 1) 法人化について
 - 2) JpGUジャーナルについて
 - 3) 若手会員減少対策(片山特務幹事)
12. 教育普及委員会報告 (奥山委員長)
以下の件について報告があった。
- 1) H25年度科技週間企画「一家に1枚—鉱物」ポスターを, 当委員会をベースとする制作ワーキンググループを組織の上, 文科省に協力して制作した。印刷総数は, 245千部。本ポスターは科技週間を中心とするいくつかのイベントで, 協力いただいた博物館・展示館などで希望者に配布され, 好評を博している。また, 地惑学会でも, 鉱物科学会展示ブースにて配布している。さらに, 学会会員によるアウトリーチ活動にも広く使われつつあり, 学会の知名度アップと鉱物への親近感増進が期待される。
 - 2) 地惑連合教育問題検討委員会の地学教育シンポジウムが5月18日に開催され, 教育普及委員会としても参画した。テーマは, 次期学習指導要領での地学教育のありかたである。
 - 3) 委員の交代: (旧) 赤井純治委員(新大), 黒澤正紀委員(筑波大)
→ (新) 小西博己会員(新大), 林信太郎会員(秋大)

13. 地球惑星科学連合報告 (大谷連絡担当)

- 1) 平成24年度第7回公益社団理事会(平成25年 3月 7日開催)
- 2) 平成25年度第1回公益社団理事会(平成25年 5月20日開催)

14. 三鉱連絡会報告 (大和田幹事)

昨年度の三鉱連絡会議事録を元に以下の報告があった。
三鉱共通名簿 (2013年度版) 発行について
・紙媒体を廃止して, 電子版として会員内へ公開する。その際, セキュリティを含めた電子版で想定される問題点については今後両学会で協議して決めることとした。
・上記に関して, セキュリティの関係上, 名簿のダウンロードはできないシステムで作成することとした。
・2013年度に作成した名簿は原則3年間更新しない。次の更新は2016年(予定)とすることとした。
・名簿には原則として会員の所属先, 所属先のメールアドレス・電話番号を掲載することとした。
・名簿作成上の具体的なシステムや記載様式については, 名簿作成の時期が迫った段階で改めて協議することとした。

15. 学術会議の報告 (大谷連携委員)

- 1) IMA分科会報告 平成25年 第一回 IMA分科会
2013年5月21日(火) 18:15-20:30 101A号室
議題
・メンバーの確認
・会長、副会長、幹事の決定
(IMA related business)
・IMAの各コミッションからの活動報告および次期への課題。
・国際会議Mineralogy & Museum(M&M)8 (2016年開催)の日本への招致について:その後の進展について。(IMA-CM日本代表委員) Invitation for M&M2016
・IMA2014 South Africa: Session proposal is closed: 各コミッション提案のセッション報告
(General topics)

- ・地球物質科学の振興についての今期の課題
 - ・地球科学における大型研究提案の現状：高圧コンソーシアム、地球化学分析拠点形成
- 2) 地球惑星科学委員会：地球惑星科学における大型研究の改訂について
- 3) 大学教育問題分科会：地球惑星科学参照基準の策定について

1 6. その他

- 1) 選挙管理委員会報告（外田選挙管理委員）
当評議員会までの候補者推薦締め切りにおいて、平成25年度評議員候補者は26名となった。
選挙期間は7月1日～7月31日に選挙内規通り指定のWEBサイトまたは郵送による投票を行う。
- 2) 博物館委員会報告（坂野委員長）
(1)委員会活動報告「北川隆司鉱物コレクション一般公開」への協賛、後援の件
(2)国際会議M&M2016年日本招致については、現段階ではH23年度第3回評議会で報告した状況のままである
- 3) 対外(JpGU)雑誌担当（大谷特務幹事）
第一回JpGUジャーナル・編集委員会報告
- 4) 法人化対策担当（土山特務幹事）
将来企画委員会での報告の通り。
- 5) 会員減少対策担当（片山特務幹事）
若手会員の減少対策に関する提案（学生会員の海外渡航支援制度）がなされた。具体案については9月の年回で再提案されることとなった。
- 6) 2014年年会(熊本大学) 状況報告
(磯部行事副委員長代理：黒澤行事幹事)
日本鉱物科学会2014年年会準備状況について
日程：2014年9月17日(水)～19日(金)
同年9月13日(土)～15日(月)の日程で鹿児島大学にて開催される日本地質学会の日程から、主に16日に実施される巡検の日程を空けて開くこととする。
場所：熊本大学黒髪南キャンパス：講演、総会を開催する主会場は、工学部講義棟を予定
・250席×1室、120席×11室の講義室、エントランスホールから、必要な部屋を借用
・委員会等の会合は、理学部講義室（30席～100席、計9室）も利用可
・懇親会：キャンパス内での開催を検討中
・運営委員長：西山忠男 熊本大学自然科学研究科教授
・特記事項：2014世界結晶年記念企画を検討中
・詳細は、本年9月に開催される2013年総会、評議員会にて報告予定。
- 7) 2016年Goldschmidt日本開催の件（鍵幹事）
日本鉱物科学会は科学・国際交流・企画などを通じ、地球化学会に協力していくことを考えている。
日程：2016年6月26日～7月2日 会場：パシフィコ横浜
組織委員長（地球化学会）組織委員長代理：鍵評議員 地球化学会との情報共有をお願いする。
- 8) 鉱物科学の教科書執筆の件（井上渉外幹事）

- (1) 書名：「鉱物科学」（仮）
(2) 価格：3,200円（税別）、初版部数：1,000部、
印税率：5%（初版）、7%（第2刷以降）
(3) 体裁：A5判、224 p、9ポイント、横一段組
(4) 読者対象：学生向け
(5) 編者・著者構成
(6) 目次 検討中（1.鉱物の定義 2.物理・化学的性質 3.分類 4.分布と生成条件 5.分析方法 6.地球科学における鉱物科学 7.鉱物の利用）
(7) スケジュールについて（2015年2月下旬発刊予定）

- 9) 2014年世界結晶年報告（永井庶務幹事）
日時：平成25年1月14日（月） 13：30～15：30
場所：名古屋大学ES総合館ES022
出席者：日本鉱物科学会永井庶務幹事代理：加藤文典、日本中性子科学会、日本結晶学会、日本学術会議IUCr分科会委員長、日本生物物理学会、IUCr国内委員会委員長、高原淳日本学術会議結晶学分科会委員長、日本結晶成長学会、日本蛋白質科学会、日本顕微鏡学会、日本放射光学会（五十音順）

11. 承認事項

1. 会員承認（佐藤会員幹事）
入会と復活について審議され、下記の通り承認された。

- 1)入会の承認 合計11名（入会申込み書別添え）
以下の正会員3名、学生正会員8名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

<一般正会員 3名>

会員氏名	勤務先名
田中 陵二	公益財団法人 相模中央化学研究所
小西 博巳	新潟大学 理学部地質科学科
住田 達哉	産業技術総合研究所 地質情報研究部門 地質地殻活動研究グループ

<学生正会員 8名>

会員氏名	在学先名	学年(申込時)	指導教官名
GANBAT Erdenesaikhan			
	東北大学大学院理学研究科D3		石渡 明
和田 奈絵	広島大学理学部地B4		安東淳一
清水連太郎	早稲田大学大学院創造理工学研究科D3		小笠原義秀
室井 律子	金沢大学大学院自然科学研究科M2		荒井章司
明石 康平	日本大学文理学部B1		高橋正樹
小澤 恭弘	東京工業大学理学部B2		高橋栄一
佐藤 琢	広島大学理学部B4		安東淳一
竹之内博志	東京大学大学院理学系研究科M1		三河内岳

- 2) 復活1名が承認された（一般正会員：白旗克志）。
3) 除名の議決（1名）。

2. 平成24年度日本鉱物科学会賞受賞候補者報告と承認

（小暮委員長）

報告された永原裕子会員、宮脇律朗会員を平成24年度日本鉱物科学会賞第9回と第10回の受賞者として承認した。

3. 平成24年度渡邊萬次郎賞受賞候補者報告と承認（小澤委員長）
報告された松本崧生会員を平成24年度渡邊萬次郎賞第29回受賞者として承認した。

4. 平成24年度日本鉱物科学会論文賞受賞候補論文報告と承認
(長瀬委員長)

報告された以下の2編を受賞論文として承認した。

<平成24年度日本鉱物科学会第13回論文賞受賞論文>

Title: Three-dimensional cooling pattern of a granitic pluton I: The study of exsolution sub-solidus reactions in the Toki granite, Central Japan, JMPS Vol.106 no2, 61-78 (Three-dimensional cooling pattern of a granitic pluton II: The study of deuteric sub-solidus reactions in the Toki granite, Central Japan, JMPS Vol.106 no. 3, 130-141), 2011.

Authors: YUGUCHI Takashi, TSURUTA, Tadahiko and NISHIYAMA Tadao

[受賞者となる会員著者] 湯口貴史, 西山忠男

5. 平成24年度日本鉱物科学会研究奨励賞受賞候補者報告と承認
(森下委員長)

報告された宮原正明会員, 岡本敦会員を平成24年度日本鉱物科学会研究奨励賞第11回と第12回の受賞者として承認した。

6. 平成24年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞受賞候補者報告と承認
(宮島委員長)

報告された木村正雄氏(非会員)を平成24年度日本鉱物科学会応用鉱物科学賞第6回受賞者として承認した。

7. 平成23年度櫻井賞受賞候補者報告と承認
(松原委員長代理: 永井庶務幹事)

報告された長瀬敏郎会員を平成24年度日本鉱物科学会櫻井賞第40回受賞者として承認した。

111. 審議事項

1. 2015年年会開催地の件(黒澤行事幹事)
2015年は、2016年開催を北陸地方と予定して検討する。

2. 研究奨励賞受賞候補者の人数と選考方法について
(森下委員長)

現状の会則では、「原則として年2件以内」となっている。そのため、年2件を選ぶという観点で選考が開始される。しかし、候補者の中には、2名以上の受賞対象者が含まれていることが少なくない。そのため、最終候補者を絞り込むことが難しい場合は3名、場合によっては4名の受賞候補者が増えることを積極的に推奨してはどうか という提案がなされ、次回評議員会で具体的に提案されることとなった。

3. 会員減少対策案の件(片山特務幹事)
学生会員の海外渡航支援制度について提案がなされ、次回評議員会で具体案を検討することとなった。

4. 運営細則の改定について(永井庶務幹事)
鉱物科学ならびに学会活動への特別な貢献に対して表彰を行うことができるよう、下記のとおり細則の修正が承認された。

運営細則 表彰等

第39条 本会に日本鉱物科学会賞、渡邊萬次郎賞、日本鉱物科学会論文賞、日本鉱物科学会研究奨励賞、日本鉱物科学会応用鉱物科学賞、櫻井賞、および櫻井奨励賞を設ける。また必要に応じて、年会における優秀な研究発表、鉱物科学ならびに学会活動への特別な貢献に対して表彰を行う。

5. 評議員会資料をpdfで事前配布することについて(村上会長)
評議員会や委員会資料をハードプリントは配布せず、事前にpdfを委員にメールで配布することが承認された。

6. その他(永井庶務幹事)

「一家に1枚—鉱物」ポスター制作ワーキンググループへ「日本鉱物科学会表彰」の授与が提案され、承認された。